



CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2012 表彰建築物 最優秀賞・事務所部門賞

デサント大阪オフィス

所在地：天王寺区 堂ヶ芝 1 丁目 11 番 3 号

主用途：事務所

事業者：株式会社デサント

設計者：KAJIMA DESIGN

〔建築概要〕

延床面積：6,158.95m²

階数：地上 5 階、地下 1 階

構造：鉄骨造

竣工：平成 24 年 2 月

〔CASBEE における評価〕

サステナビリティランキング：S

建築物の環境性能効率(BEE)：3.3

〔特長〕

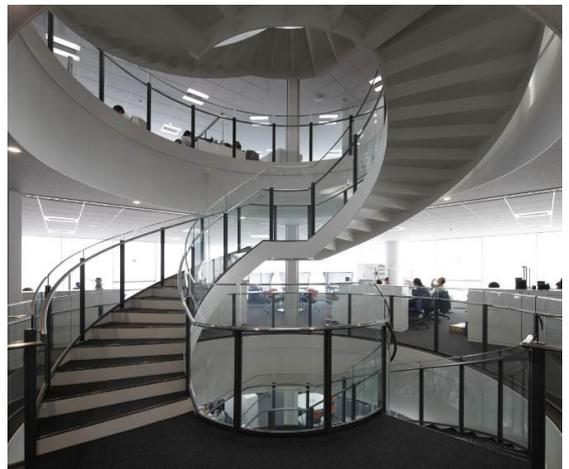
- ・ サステナブルな中規模オフィスのモデルビルとしての構築を目標とした。
- ・ 見通しのよい開放的なオフィスとし、中央に 2 階から屋上まで螺旋階段を配し本社ビルとしての一体感とコミュニケーションの活性化を図った。
- ・ パリメータファン、エアフローウィンドウなどの技術を組み合わせ、快適なオフィス空間を創出した。
- ・ 壁面緑化、地盤面緑化、屋上緑化による立体的な緑化を行った。
- ・ 建物形状、工法を工夫し既存躯体を山留として利用し、近隣に対する工事の影響を最小限に留めた。

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

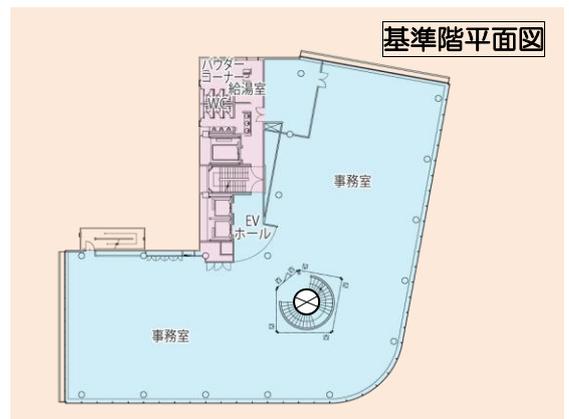
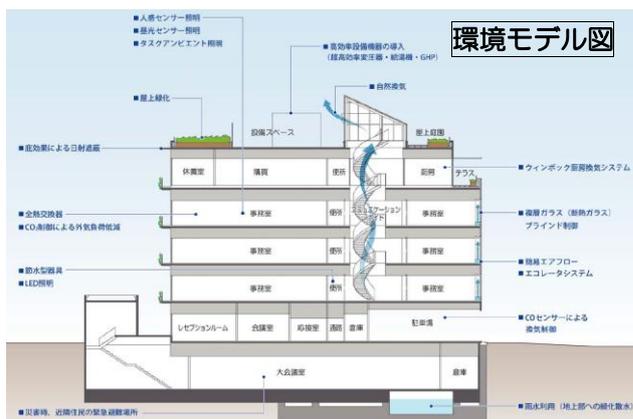
風の通り道となる螺旋階段を始めとした様々な工夫がなされている点と、事業主と建築業者双方が市街地の中規模オフィスの規範となるべきレベルを目指した取組姿勢を高く評価し、今年度の最優秀賞に相応しいと判断した。



外観



螺旋階段





CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2012 表彰建築物 住宅部門賞

あべのnini

(阿倍野 A1 地区第二種市街地再開発事業 A1-2 棟)

所在地：阿倍野区阿倍野筋 1 丁目 5 番 10 号
主用途：店舗、銀行、保育所、ホテル、共同住宅
事業者：COLORS・奥村組特定建築者共同企業体
設計者：株式会社アール・アイ・エー

〔建築概要〕

延床面積：26,002.56m²
階 数：地上 24 階、地下 2 階、塔屋 2 階
構 造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
竣 工：平成 24 年 1 月

〔CASBEE における評価〕

サステナビリティランキング：A
建築物の環境性能効率(BEE)：1.6

〔特長〕

- ・ ホテルのパブリックゾーンを住宅のエントランスロビーとして日常的に通行できるようにし、高いセキュリティと住宅共用部面積の合理化を実現した。また、居住者はホテル宿泊者向けのサービスも一部受けることができる。
- ・ 制震間柱による地震動の軽減、非常用発電機の設置、広い地下ピットをカスケード型雨水貯留槽に利用し流出抑制する等、災害時にインフラへの負荷を軽減するよう配慮した。
- ・ ディスポーザーによるごみの減量化、カーシェアリング採用により自家用車の保有台数減少を促すなど、環境にもやさしい都市生活の姿を提示した。

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

カーシェアリングなど商業一等地に立地する居住施設としての先進的取組や、各階のごみステーションなど都市居住における利便性を追求する取組、既存ビルと連携した修景や周辺開発との協働など、総合的な環境配慮に優れる点を評価し、表彰対象に相応しいと判断した。



外観



大きな螺旋階段を内包するアトリウム



CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2012 表彰建築物 住宅部門賞

ブランズ桜ノ宮

所在地：都島区中野町5丁目10番107号
主用途：集合住宅（分譲）
事業者：東急不動産株式会社
設計者：株式会社東急設計コンサルタント

〔建築概要〕

延床面積：5714.36m²
階数：地上15階
構造：鉄筋コンクリート造
竣工：平成24年2月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：A
建築物の環境性能効率(BEE)：1.5

〔特長〕

- ・ 周辺に桜ノ宮公園など緑豊かな環境があるため、空地と緑を確保することに努めた。
- ・ シンボルツリーの「桜」を植樹した公開空地は、地域のコミュニティ活動だけでなく災害時の防災拠点としても利用できる。
- ・ 屋外部分の仕上げは透水性舗装を採用し、地域インフラへの負荷抑制を行っている。

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

コストの制約が厳しい分譲集合住宅において、細かい工夫の積み重ねにより、CASBEE 評価 A を取得している。各戸ゾーンにおいて環境配慮型の設備機械を導入する一方で、パブリックゾーンでは、限られたスペースをフルに活用したエントランス集会室、ここから望める公開空地のシンボルツリーの配置など、随所に建築的な工夫が見られた。また、防災モデルマンションを取得した点も評価できる。近隣の集合住宅と同価格帯で、優れた環境配慮計画を実現した点を特に評価し、表彰対象とした。



外観



シンボルツリーのある公開空地



四季折々の木々を配置した歩道状公開空地



CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2012 表彰建築物 商業施設その他部門賞

大阪経済大学 新事務・研究棟

所在地：東淀川区大隅2丁目2番8号
主用途：大学
事業者：学校法人 大阪経済大学
設計者：大成建設株式会社一級建築士事務所

〔建築概要〕

延床面積：9,562.50m²
階数：地上8階
構造：鉄筋コンクリート造
竣工：平成24年2月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：S
建築物の環境性能効率(BEE)：3.1



外観

〔特長〕

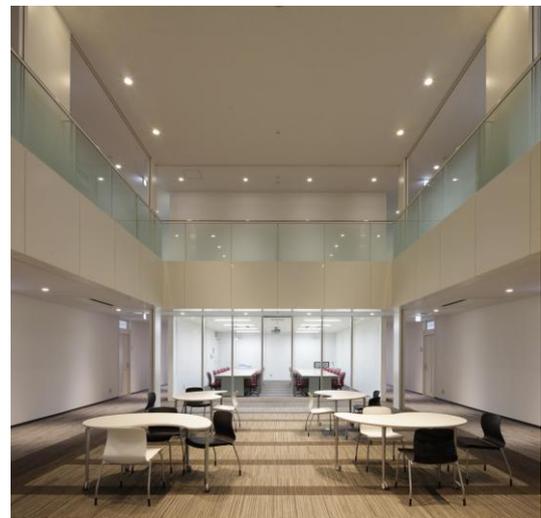
- ・ 太陽光をコントロールする庇（ライトシェルフ）をアクセント的に設置し、景観にも配慮した。
- ・ 「既存校舎との調和」と「地域の新しい景観形成」の両立を図った。
- ・ 自然換気窓等を採用し省エネルギー効果を高めると共に、節水型衛生器具採用、雨水利用により環境負荷を低減する取り組みを行った。
- ・ 柱スパンを大きく確保し、乾式間仕切壁、OAフロアを採用することで将来の変更に柔軟に対応できるよう配慮した。
- ・ 低層部屋上は全面屋上緑化を施している。



ライトシェルフ

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

周辺住宅・建物との調和を図りながら、キャンパス内は独自のデザインで統一化がすすめられている中で、そのアイコンとなる建物である。中間期の空調を使用しない期間をできるだけ長く維持する方針を持っており、自然換気を重視し機械に頼らない通風を確保する工夫が随所に具現化されている。庇上部の窓が開く仕組みなどローテクの工夫で風の通り道を確保するなど、既存の技術と新規要素を巧みに組み合わせた点と、積極的に近隣の意見を取り入れ敷地内の樹木を残す計画とした点を特に高く評価した。



風の通り道となる吹抜け